

2014.7.2

フェリーはツーリストJで早く言えば雑魚寝部屋、一部屋12人で、枕と毛布のみ。福島県からの登山Gが6人、富山からのご夫婦と9人でした。会話の無いつまらない部屋でした。4:30に小樽港着、天気の良い筈が何と曇っている。予定が外れた。とりあえず登山口の半月湖へ向かう。長万部・ひらふコースの登山口には駐車場とトイレがある。6:10着で6:25に歩き始め。

登山口にはトイレあり



登山届入れまで



登山口 6:25~7:10 2合目~4合目 7:45~8:40 6合目 8:50~10:00 9合目 10:05~11:00 後方羊蹄山(昼) 11:35~12:30 避難小屋 12:30~13:45 6合目 14:05~15:10 2合目 15:20~16:00 登山口~16:25 宿 ニセコアンヌプリ温泉入浴。

最初はこんな登山道



ウコンウツギ



北海道の道路は高速道路のようで90KM位が普通。1:20位で登山口に着く。すでに8台ほど駐車している。何故「後方羊蹄山」登山なのか？一度登った山はあまり登りたくない小生。しかも県外の山。

理由は私は「日本百名山」完登達成した(1998.8月)思い出の山が後方羊蹄山でした。残った北海道9座の登頂をすべく、当時直江津港から岩内港にフェリーで向いました。当然最初の山は「後方羊蹄山」でした。その旨当時山で知り合いお付き合いしていた小樽市の方に知らせました。彼からの返事は「最後の山は、後方羊蹄山にしてくれ、私がお祝いで一緒に登頂するので」でした。その為私は後方羊蹄山を横目に見ながら苫小牧経由で幌尻岳へ向かいました。最後の後方羊蹄山には、彼と一緒に登頂しましたが、ガスで展望は全くありませんでした。先月登ろうとニセコの宿に泊まりましたが、天候が悪くて登れませんでした。7/3 出発の予定を天候を見て7/1に早めました。それなのにこの天気！どうしようか悩みましたが天候が回復するのを祈って歩き始めました。6合目では青空になりました。所が山頂付近は下に雲があつて展望が全くありませんでした。でも山頂～御鉢は全て見えました。まあ良しとします。下山後宿へ向かう途中では後方羊蹄山が何と望めました。なお9合目までの登山道脇の花はすくなくありませんでした。

シラネアオイ



キバナシャクナゲ



火口



懐かしの山頂



避難小屋



山頂付近はキバナシャクナゲ・シラネアオイなどが沢山咲いていました。標高差 1500M以上ある山の日帰り登山が大変になってきました。歳は取りたくないですね。